



こんにちは◎2回目の登場、地域連携担当の石山です。皆さん、小松安弘記念館はご覧になりましたか？各部屋のコンセプトに応じ、家具類の形や色にもそれぞれ意味が込められていて、家具類の選定に携わった私は思い入れもひとしおです。ご希望の方はご案内いたしますのでお声がけくださいね。

そんな同館のオープン記念イベントとして、9月8日に基調講演&パネルディスカッション「福山から発信する循環型社会への取組」が開催されましたのでレポートします。

基調講演では、株式会社エフピコ代表取締役会長兼エフピコグループ代表である佐藤守正様を講師にお迎えし、



記念館の寄附者であり福山市名誉市民である小松安弘様のご功績と、グループの取組についてご講演いただいた

きました。業界初のカラートレー開発に始まり、トレーのリサイクル方法の確立や自主物流方式の構築など、多くの先進的な取組を実践されました。現在のエフピコとなるまでを語る佐藤様の目には涙が浮かぶシーンも…。熱い思いが会場全体に伝わりました。

続くパネルディスカッションでは、佐藤様にパネリストとして登壇いただくと共に、本学都市経営学部の澤田結基教授とアラスカでの環境開発実習に参加した3年生も加わり、環境問題に対して企業や大学が果たすべき役割や、環境改善に向けた一人ひとりの取組など、事例や体験を紹介しながら意見を交わしました。

小松安弘記念館が市民と大学との交流の拠点となるよう、今後もさまざまな行事を計画していきますので、皆さんぜひお越しください！

●新施設レポート・後編

こんにちは！施設担当の宮下です。前回に続き、9月にオープンした小松安弘記念館について、今回は館内の各教室についてご紹介します。

同館は教育研究棟と福利厚生棟の2棟で構成され、2階のウッドデッキが両棟をつなぎ、にぎわいを創出しています。学生、研究者、企業、そして地域の方々がフレキシブルに利用できるよう、各教室に役割とコンセプトが込められています。

【教育研究棟】まず左手にあらわれるのが、地域と大学をつなぐ教育研究交流センターです。当館を外から眺めた際、美しい曲線を描く多目的家具が目を引きはく。そしてその2階には、人々が集うラウンジや、利用者同士が交流を深めるラーニングコモンズ。3階には、交流から創造へとつながるDXラボ。建物の1階から3階を貫く吹き抜けと大階段で、これらの各教室が緩やかにつながり、一体感を生み出しています。

【福利厚生棟】福山市の花であるばらの葉をイメージした丸い形が特長の福利厚生棟。1階には、教育学部の講義やお子様連れの方にも公開講座などご利用いただける子育てラボ、2階にはくつろぎの空間となる

学生交流サロン、学生活動を行うFCUラボなど、多彩な教室が並んでいます。



お立ち寄りの際は、ぜひ各教室の雰囲気を感じてみてください！

気になる教室はありましたか？小松安弘記念館は全体的にオープンな造りで、館内を歩くとガラス越しに中の様子がわかるようになっていきます。



FUKUYAMA CITY UNIVERSITY

福山市立大学

教育学部、都市経営学部の2学部で構成される公立の4年制大学。自治体や地域社会、地元企業との連携を深め、持続可能なまちづくりに寄与する人材の育成をめざしている。

【問い合わせ先】
福山市立大学 事務局総務課 連携担当
☎ 084-999-1112 ✉ soumu@fcu.ac.jp



研究シーズ集